



「プライド(誇り)」

校長 玉川 徹

今日から2学期のスタートです。

どのような「夏休み」を過ごしたのでしょうか？

35度を超える「猛暑日」が多い夏休みであり、新型コロナウイルス感染症の第7波で感染者が増えてきた夏休みでもありました。そんな中ですが、行動制限のない夏休みは3年ぶりでした。新型コロナウイルス感染については、まだまだ油断はできません。しっかりと感染症対策をしながら、2学期も学校教育を進めてまいります。

さて、9月25日は、大宮東小学校開校記念日です。

「なぜ9月が開校記念日なんだろう？」と素朴な疑問から、夏休みにいろいろと資料を探してみました。

『昭和27年(1952年)9月25日 大宮市立東小学校建設の起工式が行われる。』起工式とは、この大宮東小学校の地に、建築の鍬が振り下ろされることです。

そして、翌年昭和28年(1953年)4月6日に落成式並びに開校式が挙行され、8日に始業式、入学式が行われたそうです。



終戦後、児童数の急増により、大宮小学校と大宮北小学校は二部制(午前・午後に分かれて登校)となり、それら解消のため、東小学校の地元の方たちの強い意志と結束によって他の学校に負けない立派な校舎や校地を造る事に努力されてきたとありました(「20年のあゆみ」より)。それまでには、いろいろなご苦労もあったようで、大きな面積を用する敷地の確保について多くの不安があったようでしたが、多くの地主の皆様から真に理解を超越した御理解が得られたうえで地区内有志の御協力もあり目度く東小が誕生したのだそうです。(記念誌より)

エピソードの中には、学校ができる前は正門の所から東門の所までは道路があったそうですが、学校ができるからは校庭になった。それでも、地域の方は通行していた。校長先生が通行禁止にしたら、うらまれました・・・と。

校庭の南側の桜も校舎北側の桜も、地域の方が寄贈してくださったのだそうです。多くの方々の思いがあり、69年前に東小学校が誕生したのです。

卒業生は10,153名、今年度までの教職員は600名を超えます。そして、地域の方々、保護者の方々、PTAの方々など本当に多くの方々が大宮東小学校の教育活動に携わってくれてきました。学校設立への思い、校歌への思い、校庭への思い、桜など校庭の植物への思い、歴代の教職員、そして子どもたち、保護者、PTA、地域の方々のその時代その時代の大宮東小学校への思いや願いがあり、そのバトンを受け継ぎながら今、69年目があります。令和4年9月25日、69回目の開校記念日を迎えます。

大宮東小学校の子どもであること、職員であることに誇りと自覚をもって、「東小学校への思い」を受け継ぎながら、「東小、いい学校だ!」「東小の子どもだ!卒業生だ!」「自分がよい東小をつくる!」とみんながプライド(誇り)をもてる“自分の学校”にしていこうと心あらたにする開校記念日にしていきたいと思ひます。

実りある2学期にしてまいります。2学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

*職員室前のケースに東小の歴史がわかるものを展示してあります。是非、御覧になりに来てください。